

令和6年度 第3回矢吹町学校規模適正化検討委員会 議事要旨

会議名：令和6年度 第3回矢吹町学校規模適正化検討委員会

日時：令和6年10月8日（火）18:15～19:50

場所：矢吹町複合施設 KOKOTTO

参加者：委員25名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

(1) 開会、教育長あいさつ

教育長	本日はアンケートの回答が出揃ったため、それをとりまとめた結果報告を行うとともに、地区別懇談会等について説明させていただく。本日も委員の皆様から様々なご意見をいただきたいと考えている。
-----	---

(2) 会長あいさつ

会長	先日実施された石川町への視察研修は大変参考になった。本日はアンケート結果等を踏まえ、今後検討委員会で検討したいことについてディスカッションを行うので、委員の皆様には活発な議論をいただきたい。
----	---

(3) 視察研修の実施結果について

事務局	（資料1に基づき、石川町立石川小学校での視察研修結果について説明） 委員の皆様から石川町教育委員会にお聞きしたいことはないか。
委員	石川小を新しい形でつくっていくという説明を受けて、「石川小の伝統はどのように引き継ぐのか」と質問をしたところ、「100年以上続く石川小の伝統は受け継ぎます」との回答をいただいたことを共有したい。
会長	その他、質問等あるか。
委員	なし

(4) アンケート結果について

事務局	（資料2に基づき、アンケート調査結果確報告について説明）
会長	質問等あるか。
委員	なし。

(5) 今年度の検討委員会にて検討する論点について	
事務局	<p>(資料 3 に基づき、これまで検討委員会で整理されてきた課題と今後検討を行っていく論点について説明)</p> <p>グループワークにて、以下①～⑥も含め今後検討が必要となる事項について議論いただき、グループごとに議論内容を発表していただきたい。</p> <p>①どの段階で統合するのか (統合となった場合の場所も含む)</p> <p>②統合に向け地域や保護者からの理解をどう得ていくか</p> <p>③統合の場合、地域への影響は何が考えられるか</p> <p>④保護者が送迎を行う場合の課題</p> <p>⑤スクールバスの運用 (バス停、ルート、運行会社など)</p> <p>⑥跡地利用</p>
委員 ※小学校の保護者グループ	<p>①今日にでも、という意見も出たが、複式学級が出るタイミングがよいのではないかと。ただし、そもそも複式学級とは何かを理解されていないように思われるため、理解醸成を図る必要がある。また、小学校については幼稚園の検討とは異なり、統合するという前提を明確にして検討を進めることが重要で、通学や地域性など様々な想いを一つ一つ解決していく必要があると思う。また、善郷小については統合しなくてもよい状況ではあるものの、アンケート結果では統合に肯定的な意見が多かったことから、4校を同時に1校に統合するのがよいと考える。</p> <p>②③方向性が定まったうえで考えたい。</p> <p>④⑤は多くの保護者の悩み。このあたりの検討時間を多くとって検討を進めていただきたい。</p> <p>⑥既存施設は取り壊すか、それが難しければ民間に売却するなど様々な選択肢があるものの、これは先の議論になると思われる。</p>
委員 ※小学校長グループ	<p>①地域の人が必要性を感じたときが統合のタイミングと考えるものの、統合の必要性を感じるまでにはタイムラグがある。複式学級が編制されて初めて必要性を感じることも考えられる。複式学級が編制されて初めてやはり児童は多い方がよいと気付くくらいであれば、統合の必要性を町として発信しつつ、統合に向けて今から進めることがよいと思われる。また、候補地に関しては、幼稚園と中学校の近くに立地させることで、幼小中の学園都市にするとよいのではないかと。また、小中一貫校なども選択肢としては考えられるのではないかと。</p> <p>③「このように子どもを育てていくために統合は必要である」と統合の必要性を町として発信するとよい。複式学級が編制される時点あるいはその前に、大人数のなかで生きていく力を育んでいくことは重要で</p>

	ある、といった大人数による学校教育のメリットを伝えていくとよいのではないか。
委員 ※幼稚園長グループ	<p>①複式の発生が見込まれる前までに統合すべき。また、場所は町の中央がよいのではないか。</p> <p>②複式学級とは何か、実際はどのようなものか、メリット・デメリットは何か、ということ保護者や地域住民に理解いただくことが必要と考える。</p> <p>③石川小の例も参考とすると、吸収合併は抵抗があると思われる。この点、新設する場合はそのような問題はないものの、母校がなくなってしまうという意見もある。また、立地場所としては、駐車場、道の幅、一方通行かどうかなど様々な観点を踏まえ、安全を第一に考える必要がある。</p> <p>⑤スクールバスについて、子どもは長い時間乗れないのではないか。この点は保護者の意見を聞きつつ説明していくことが重要と思われる。</p>
委員 ※幼稚園の保護者グループ	<p>①複式学級を編制する前がよい。</p> <p>④⑤が重要。統合するのであれば、スクールバスは必須。小さい子どももいるため、乗車時間やルートは入念に計画しなくてはならない。なお、既存の各小学校に近いことを理由に家を建てた方へのケアとしてもスクールバス等は必要である。また、中学校の送迎時に車両が込み合う状況にあるため、渋滞解消も必要である。</p>
委員 ※区会長グループ	<p>否定的な問題をいかに解決していくかが重要となる。なかでも、通学の負担が大きいのが最も大きな課題となっているため、地域住民と意見交換しつつ検討することが必要である。</p> <p>①特に三神小は児童数が少なく、複式学級になる見込みがある。このような状況において、複式学級を避けたいがために学区外の別の学校へ通うというケースが見られている。このままでは三神小の保護者が町外に流出する問題もあると考える。</p> <p>②同意を得るには通学の負担の問題を解消することが重要である。</p> <p>③子どもたちのために考えるのであれば、地域への影響は考えなくてよいのではないか。</p> <p>④⑤は②と同じ。</p> <p>⑥子どもたちが放課後に遊びに行けるような場所・仕組みを作ってはどうか。</p> <p>地域は学校に誇りや愛着を持っているものの、それは大人の思い入れの問題であり、子どもたちにとっての問題ではない。学校の統合については、子どもたちを中心に考えなければならない。</p>

委員 ※中学校長・中学校保護者等グループ	<p>①複式学級となる時期を考慮する意見も出たが、幼稚園の統合が決まっていることを前提に考えると、園児が卒園して4小学校に分かれて入学し、中学校でまた1校に戻ってくるというのは、友だち関係で寂しい思いをするのではないか。幼稚園が統合するタイミングで小学校も統合することも考えられるが、それが難しいのであれば、統合園に入園した園児が卒園するタイミングで小学校が統合されていれば、子どもへの影響は少ないと思われる。</p> <p>②地域の結びつきが失われるという意見に対しては、統合のメリット・デメリットをしっかりと説明すれば、理解していただけるのではないか。また、中学校ではクラスの人数が30人程度と多い。人数が多いと楽しいことも多いようである。</p>
委員 ※会長・副会長等グループ	<p>①②地域ごとに少子化の状況が異なる。判断の基準をどこに置くか等、各学区の状況を踏まえ様々なパターンを検討するとともに、なおも反対の意見を持ってらっしゃる方々にどう配慮していくかについても検討が必要である。</p> <p>④⑤現状で統合すると30学級程度、全校生徒600人程度になる。これは到底スクールバスの運用が難しい人数規模と考える。どういう人数であればスクールバスの運用が可能かも考えなければならない。まずは中畑小・三神小を1校に統合し、次に矢吹小が善郷小を飛び越えてその統合校に統合していくのか、あるいは矢吹小に統合していくことになるのか等、パターンは多数考えられる。大規模な学校は要するコストも大きいものとなるため、場合によっては現存の校舎を活用することも選択肢として残しておくべきではないか。</p>
会長	次回の検討委員会で引き続き検討していきたい。

(6) 地区別懇談会の実施内容について

事務局	(資料4に基づき、地区別懇談会の日程、内容、資料等について説明)
会長	質問等あるか。
委員	なし。
会長	この内容で地区別懇談会を実施していく。

(7) その他について

事務局	(今後のスケジュールについて説明) 次回の第4回検討委員会は11/19(火)18:15にKOKOTTOで実施する。
会長	質問等あるか。

委員	なし。
事務局	以上をもって本日の会議は終了とする。

以上